

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ：<http://www.library.city.kawasaki.jp/>



「かわさき読書週間」

10月31日(日)～11月14日(日)

▶▶▶▶▶ イベントへお越しください!

毎年ボランティアの皆さんと協働で開催している「かわさき読書週間」。今年は国民読書年にちなんで、さらに充実。昨年に続き、フロンターレとの共同企画も。お子さまからご年配の方まで、皆さんでお楽しみください!!

イ ベ ン ト

☆川崎図書館・大師分館・田島分館☆

- ・10月17日(日)：「おはなしキャラバン」
紙しばい・パネルシアター・てあそび・うたあそびなど
【教育文化会館イベントホールにて】※3館合同企画

☆幸図書館☆

- ・10月26日(火)：大人のためのおはなし会
～ストーリーテリング～
- ・10月27日(水)：大きなおはなし会
- ・10月29日(金)～11月3日(水)
「図書館浮世絵コレクション展」
【幸市民館ギャラリーにて】
- ・11月13日(土)：大人のための朗読会

☆日吉分館☆

- ・10月30日(土)：子どものための秋のおはなし会
～ストーリーテリング～

☆中原図書館☆

- ・11月26日(金)～11月30日(火)
なかはら子どもとしょうかん本の森
絵本の読み聞かせ・絵本展示・ボランティア紹介展示など
【中原市民館ギャラリーにて】

☆高津図書館☆

- ・10月24日(日)：秋のおたのしみ会
親子で科学の玉手箱～万華鏡をつくろう～
- ・10月30日(土)～11月7日(日)：高津区の読書
活動紹介展示（図書館で活動しているグループや学
校図書館の活動紹介など）

日 程

☆橘分館☆

- ・11月5日(金)～7日(日)：リユース本配布・図書
の展示など
- ・11月7日(日)：読み聞かせボランティアどんぐ
りによるおはなし会、おすすめ絵本の展示
- ・10月20日(水)～11月20日(土)：特集コーナー「園芸」

☆宮前図書館☆

- ・10月22日(金)～10月27日(水)：みやまえ読書の日
おはなし会・ミニ講演・図書館ツアーなど各種イベント
【宮前市民館ギャラリー、視聴覚室にて】

☆多摩図書館☆

- ・10月30日(土)：とよたかずひこ氏講演会
【多摩市民館 大会議室にて】
- ・10月30日(土)～11月7日(日)：図書館で活動
しているグループや学校図書館の活動紹介
- ・11月20日(土)：秋のおはなし会

☆麻生図書館☆

- ・10月29日(金)：大人の方楽しんでいただくた
めのおはなし会
- ・11月5日(金)～14日(日)：読書のまち・かわ
さき 麻生区小学生感想文・感想画展示会

☆柿生分館☆

- ・11月1日(月)～14日(日)：本の展示・展示内容
のリスト配布

※9月15日現在の予定です。予告なしに変更する場合があります。
詳しくは図書館ホームページや各館にお問合わせください。

★イベントのひとつ「ブックランドTODOROKI」★

今年もフロンターレホームゲーム開催日に合わせ、10月30日(土)に開催
します。内容は、選手おすすめ本リスト配布、図書販売、リユース図書提
供などです。昨年はあいにくの曇り空でしたが、リユース図書コーナーに
は開始前に行列ができるほど大盛況でした。

2009年の様子▶



読書のまち・かわさき 読書普及講演会

「北村薫の読む喜び 書く楽しみ」
講演会のご案内

国民読書年の今年、直木賞作家・北村薫先生をお招きします。

7月に実施しました皆さまからのアンケートをもとに、先生の読書観や創作活動などについて語っていただきます。数々のアンソロジーも編み、読書経験豊かな先生のお話で読書の醍醐味を再認識します。

【日 時】平成22年12月10日(金) 午後1時30分～3時30分

【会 場】高津市民館 大ホール

【申込み】11月9日(火)より各市立図書館・分館・閲覧所にて各館開館時間から「整理券」(※お1人様 4枚まで)を配布いたします。

【定 員】600名 先着順

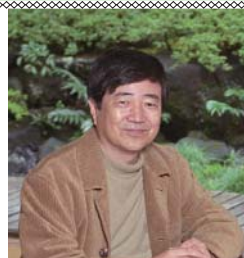
【問合せ】中原図書館(電話 722-4932)

※11月9日(火) 午前10時より、お電話での申込みも受け付けいたします。

☆☆☆ 講師紹介 ☆☆☆ 北村 薫 (きたむら かおる)

1949年埼玉県生まれ。高校で国語を教えるかたわら、89年、覆面作家として『空飛ぶ馬』でデビュー。91年『夜の蟬』で日本推理作家協会賞を受賞。09年『鷲と雪』で直木三十五賞を受賞。読書家として知られ、評論やエッセイ、アンソロジーにも腕をふるっている。

主な著書：『スキップ』『ニッポン硬貨の謎』『北村薫の創作表現講義』『謎のギャラリー』『北村薫のミステリー館』など



第14回

We Love!
KAWASAKI

～太郎の原点～ 岡本かの子

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介していきます。第14回目は、岡本かの子に関する本を集めました。歌人、宗教家、小説家、岡本一平の妻、そして来年生誕100年を迎える岡本太郎の母という様々な顔を持つ彼女が残したものの、その生き方とは……。



ロウギショウ

『老妓抄(新潮文庫)』

岡本かの子／著【新潮社】

江戸情緒が残る明治・大正の東京を舞台とした、短編小説9編を収録。屈指の名短編と言われる「老妓抄」の最後に主人公が歌った歌は、「岡本かの子文学碑(高津区二子)」に刻まれています。

リョウラン

『療亂の牡丹 かの子未刊随筆集』 岡本かの子／著【葎柿堂】

全集未収録の随筆や短歌をまとめた1冊。「人生は四十から」と触れ、松尾芭蕉・紫式部・キュリー夫人など歴史的著名人たちの40歳をキーワードに綴った随筆は必見です。かの子は「四十の仲間」として、ある鳥の名をも挙げ、のびやかな発想と表現力を見せてくれます。



『別冊太陽 岡本家の人びと 一平・かの子・太郎』 高橋洋二／編【平凡社】

岡本家の生活・創作活動・世界観などを著名人らが紹介しています。かの子の著書の美しい表紙、仕事場や日常の写真などが多数掲載されており、色彩豊かな資料です。

『一平かの子 心に生きる凄い父母』 岡本太郎／著【チクマ秀版社】

「純粋に“いのち” いっぱいに生ききった」両親の生き様を幼少時代からのエピソードを交えて太郎がまっすぐな文章で綴っています。子の視線からの端的な描写が印象に残る著書です。



★紹介している資料は一般書店に流通していないものや絶版のものも含まれます。ご了承ください。★

誰もが気持ちよくご利用いただくために・・・

図書館でのマナーにご理解、ご協力を！

こんな経験はありませんか？

- * 借りた本、借りようとした本に汚破損や書き込みがあった。
- * 貸出中で予約した本が、返却期限を過ぎても戻らず借りられなかった。
- * 閲覧席に荷物のみが長時間放置されていた。

このような経験はいやなものですね。
問題が解決されても、後味の悪い思いをなされたことでしょう。



そこで、マナーのポイントです。

* 資料について

お借りになった資料は、元の状態のままで、ご利用後はなるべく早く次の方がご利用になれるようご協力ください。

* 施設のご利用について

館内では、他の方が不便・不快に思われる行為を慎み、資料や施設の汚破損に繋がる行為にご注意ください。

* 困った時には相談カウンターにお越しください。また、ホームページで、具体的なマナーのお願いをしています。http://www.library.city.kawasaki.jp/riyou_mana.html



いつも利用マナーを守ってくださる皆様、ご協力ありがとうございます。



フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

わが川崎のサッカーJ1チーム「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。第4回目は、相澤貴志選手が選ぶ1冊を紹介します。



『鏡の法則 ～人生のどんな問題も解決する魔法のルール～』

野口嘉則／著 【総合法令出版】

《あらすじ》 メンタルマネジメント講師として活躍後、多くのクライアントの目標達成や自己実現をサポートし続けている著者が、実話をもとに、問題を解決するためのルールを教える。第1回「読ませ大賞」ノンフィクション部門賞受賞作。



*** 相澤貴志選手より ***

マジで泣いたこの1冊！納得がいけない事も、実は自分に原因があるなど、教えられることもあるし、心が動かされます。泣ける感動の1冊です。

【GK21 相澤貴志選手】

ハイボール処理や1対1の局面で勝負強さを発揮する大型GK。自己鍛錬が当たり前のプロの世界にいる人間らしく、読む本の多くは自己啓発本。フロンターレで10年目となる今シーズン。昨シーズンは出場機会に恵まれなかったが、日本代表GK川島永嗣なき後のGKのポジションを、準備を怠ることなく地道に練習を積みながらハイレベルなポジション争いを制して現在、試合出場を果たし活躍中。

かわさき歴史めぐり (22)

徳川氏の関東入国と川崎市域－22－

法政大学名誉教授
村上 直

川崎市域には80以上の村が分布していましたが、地形によって水田、畑地、塩田の村や多摩川（玉川）の対岸にある飛地の村などがあり、その面積や生産力を示す村高もさまざまでした。最近、川崎市市民ミュージアムで催された『絵図でめぐる川崎－失われた景観をさぐる』と題する企画展（2010年7月17日から9月5日）は有意義な展示で、その『図録』は学芸員の根本佐智子氏と望月一樹氏により編集及び解説が行われています。

絵図の出品展示は「富士見十三州輿地全図」「武蔵全郡絵図」「武蔵国全図」をはじめとする市域の絵図は134点に及び、江戸時代の村むらの景観を詳しく知ることができました。内容も村むらを描いた絵図の他、多摩川（玉川）や街道などを描いた絵図も含まれており、幅広い視野から失われた景観を探ることができました。

『図録』によれば稲荷新田・大師河原村、池上新田・大嶋村、川崎宿、下平間村、下沼部村（飛地）、上丸子村、小杉村、宮内村、下野毛村・瀬田村（飛地）、久本村、上作延村、坂戸村、末長村、子母口村、梶ヶ谷村、馬絹村、土橋村、下菅生村、天真寺新田、平村、長尾村、登戸村、菅村、金程村、高石村、王禅寺村、片平村・五力田村その他の絵図が掲載されており、解説によって絵図への理解を深めることができました。

江戸時代の村に関する絵図は、どのようにして作

成されたのでしょうか。絵図はその作成目的によって分類することができます。村の絵図には、村全般とその一部を示すものがありますが、領主側の専門の絵図師のほか、絵図に精通した村びとによって作成される場合があります。川崎市域の場合も、多くが絵図師の名前が記されていないので、作成者を明確にすることは難しいのですが、ただ、正徳元年（1711）の「王禅寺村山論裁許下絵図」には大師河原村の利平次と宿河原村の佐源太の2人の村民の名が記されており、そのあと幕府が抱えていた絵師によって清書されたようです。また、村側の意向を絵師が絵図に反映させている場合もあり、村絵図についての多様な作成の事例がみられます。（望月一樹「近世村絵図は誰によって描かれたか」『図録』収録）

これまでの、村むらの歴史を調べる村落史の研究は、多くが地方文書による文献史料のみによって考察していました。しかし、近年では、こうした絵図史料を利用しながら、“村を歩く”つまり、現地踏査によりながら、村の連続性や変化を景観と生活の視点から明らかにしようとする方法が提唱されています。そして、歴史学・地理学・民俗学・考古学などの研究を併用することによって、村の歴史を庶民の立場で理解していこうとする試みです。この企画展を契機として、川崎市域の研究が深化していくことを期待します。



「稲毛川崎ニヶ領絵図」（川崎市市民ミュージアム所蔵）

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011)	高津図書館(822-2413)	麻生図書館(951-1305)	大師分館(266-3550)	橋分館(788-1531)
幸図書館(541-3915)	宮前図書館(888-3918)		田島分館(333-9120)	柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932)	多摩図書館(935-3400)		日吉分館(587-1491)	菅間覧所(946-3271)